清水澄子　しみず すみこ　明治四十二年五月一日長野縣生れ、大正十四年一月七日歿（一九〇九―二五）。上田高等女學校三年生の時、鐵道自殺。その遺稿集『さゝやき』（清水袈裟雄編、大正十五年一月十日寶文館）はベストセラーとなり、後を追ふ者を現出させたといふ（再刊『さゝやき』昭和二十二年六月十日長野・裙花書房）。